

2025年10月10日

第56回（2025年度）「博報賞」受賞者決定

公益財団法人博報堂教育財団は、第56回「博報賞」の受賞者を決定し、本日発表いたしましたのでお知らせいたします。

本年度は、博報賞12件、功労賞8件、奨励賞15件が選出されました。なお、第56回「博報賞」贈呈式は、本年11月14日（金）、日本工業倶楽部（東京都千代田区）にて、実施予定です。

■「博報賞」とは

「博報賞」は、児童教育現場の活性化と支援を目的として、財団創立とともにつくられました。「ことばの力を育むことで、子どもたちの成長に寄与したい」そんな想いを核として、日々教育現場で尽力されている学校・団体・教育実践者の「波及効果が期待できる草の根的な活動と貢献」を顕彰しています。

また、その成果の共有、地道な活動の継続と拡大の支援も行っています。

■賞の内容

日本国内在住の6～15歳（特別支援教育は4～18歳）の子どもたちに対する「国語・日本語・ことばの育成に関わる教育実践」と、「特別な配慮や多様なニーズのある子どものコミュニケーション活動を支援する教育実践」を軸に、「国語教育」「日本語教育」「特別支援教育」「日本文化・ふるさと共創教育」「国際文化・多文化共生教育」「独創性と先駆性を兼ね備えた教育活動」の6領域に関連する活動を贈賞対象としています。

推薦資格を有する第三者（各自治体の教育長、学識経験者など）により推薦を受けた候補者の中から、審査委員会（委員長：滝川 国芳 京都女子大学教授）において選考・決定されます。

博報賞は、子どもたちの主体性を引き出し、素晴らしい成果をあげている先駆性・独自性のある教育実践で、波及効果が期待できる草の根的な活動と貢献に贈られます。さらに、博報賞受賞者の中で特にすぐれた実践がある場合には、「文部科学大臣賞」も併せて授与されます。

また、博報賞には及ばないものの、一定以上の功績をあげている長年の貢献には功労賞を、今後の活躍に期待ができる活動には奨励賞を設けております。

受賞者には、正賞（賞状）と副賞金をお贈りします。各受賞者への副賞金は、博報賞100万円、功労賞50万円、奨励賞30万円としています。

■本年度（2025年度）の受賞者

博報賞12件（うち3件は、文部科学大臣賞も併せて受賞）、功労賞8件、奨励賞15件
受賞者および活動タイトルについては、別紙「受賞者一覧」をご覧ください。

公益財団法人博報堂教育財団は、児童に対する国語教育と視覚・聴覚障がい者に対する教育を助成し、あわせてその活動に関する調査研究を行うことで、健全な人間形成に寄与することを目的に、1970年に設立されました。以降、「子ども」「ことば」「教育」を活動領域ととらえ、さまざまな活動を行っています。

財団設立時から続く優れた教育実践活動を顕彰する「博報賞」をはじめ「児童教育実践についての研究助成」「教職育成奨学金」「日本語交流プログラム」「社会啓発事業」「日本語教育プログラム」さらに「調査研究事業（こども研究所）」などの活動を行っています。

■本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 博報堂教育財団 博報賞担当
TEL: 03-6206-6266（平日9:30～17:30）
E-mail: hakuhoushou@hakuhodo.co.jp

2025年10月10日

第56回（2025年度）「博報賞」受賞者一覧

◆博報賞・文部科学大臣賞 3件

都道府県	受賞者名	活動タイトル
宮城県	早坂 和枝(大崎市立古川第五小学校 講師)	正しく発音できる喜びを実感し、 喜んで話す児童を育てることばの教室
静岡県	磯部 真代(浜松市立蒲小学校 教頭)	つながる学校 ～社会に開かれた学びの実現へ～
宮崎県	西都銀上学園 西都市立銀上小学・銀鏡中学校	銀上地域の自然・文化が紡ぐ教育の再生 ～山村留学制度と共に歩んできた30年の取組～

◆博報賞 9件

秋田県	小林 陽介 (北秋田市立義務教育学校阿仁学園 校長)	郷土資料集「きらり☆きたあきた」の作成・推進・活用 によるふるさと教育の充実
千葉県	柏市立大津ヶ丘第一小学校	創造力で地域を変える ～未来社会を担う子どもたちの挑戦～
神奈川県	特定非営利活動法人 心魂プロジェクト	難病児に届ける“心が動く体験” ～子どもたちの成長と命の輝きを引き出す～
新潟県	岩松 尚貴(柏崎市立南中学校 教頭)	ふるさとをことばで継ぐ子どもたち ～郷土作家を起点とした物語創作と文学交流～
長野県	大鹿村立大鹿中学校	生徒と地域で紡ぐ中学校歌舞伎公演会 ～50年の軌跡と未来へつなぐバトン～
静岡県	学校法人 ムンド・デ・アレグリア学校	母語教育で「豊かな心」と「考える力」を、 日本語教育で「生きる力」を
兵庫県	三木市国際交流協会	多文化多言語の子どもとの 居場所づくりを通して共生を学ぶ
岡山県	倉敷市立旭丘小学校	豊かな読書生活の推進 ～ことばの力をもとに豊かな人間形成を図る～
岡山県	津山市立西小学校	100年後も豊かな津山城西へ！ ～学びの意義を高めるPBLの実践～

◆功労賞 8件

青森県	神田 昌彦(弘前市立南中学校 校長)	環境再生活動の普及と定着を目指したESDの展開
埼玉県	地球っ子グループ	外国ルーツの子どもたちの 全人的成長を目指した地域での活動
千葉県	きみつ少年少女合唱団	被災地に「歌のちから」を届け続ける子どもたち
東京都	特定非営利活動法人 しゅわえもん	聞こえない大人(ろう者)が ろう児に手話で自己表現する場を提供する

新潟県	上越市立谷浜小学校	地域連携による「ふるさとに愛着をもち、地域と共に歩む子ども」の育成
山口県	しゅうなん 周南市立八代小学校	八代の自然を守り継承する八代っ子の育成 ～ナベツルの保護活動を通して～
熊本県	NPO法人 外国から来た子ども支援ネットくまもと	外国ルーツの子どもたちの日本語教育、学習支援 進路保障および居場所づくり
宮崎県	つ の 都農町立都農中学校	地域文化の継承と子どもの成長をつなぐ学び ～都農神社夏大祭を中心に据えた実践～

◆奨励賞 15件

群馬県	豊岡 たいが 大画(太田市立城東中学校 教頭)	4コマ漫画指導案を活用した、授業改善につながる持続可能な研修の取組
千葉県	南房総三龍亭	キッズ落語プロジェクト
東京都	特定非営利活動法人 メタノイア	難民申請者の子どもと地域社会をつなぐ 日本語教室「Mutluわらび」
神奈川県	湘南とアジアの若者による未来創造事業 実行委員会	絵本で子どもたちの世界をひろげるプログラム
新潟県	樋口 大輔(新潟市立浜浦小学校 教諭)	子どもの笑顔があふれる教室 ～〈漫才〉を音読する国語の実践を通して～
福井県	かなづ あわら市金津中学校	「あわら考幸学」の推進
静岡県	裾野市東地区おやじの会	毎月開催の「何にもしない合宿」を ベースとした日常の関係づくり
愛知県	北名古屋市立師勝北小学校 学校運営協議会	地域と共にある学校づくり ～互恵的な諸活動を通して～
京都府	しもぎょうみやび 京都市立下京 雅 小学校	幼少一体型の研究組織の構築 YMOプロジェクト ～ Yobai-Miyabi-organization ～
京都府	きづがわ いずみがわ 木津川市立泉川 中学校	つなぐ平和の学び ～友情は国境を越えて 姉妹校との半世紀ぶりの交流再会～
奈良県	やすざと たけし 安里 健志 (大和高田市立浮孔西小学校 教諭)	通級指導担当教員が実施する 児童の障がい理解を深める教育活動
岡山県	いばら あがためし 井原市立 県主小学校	ふるさとの未来を願い、 児童の思いを実現する探究学習
岡山県	わ け 和気町立佐伯小学校	「ひと・こと・もの」とつながる佐伯小夢プロジェクト
広島県	広島県肢体不自由特別支援学校 自立活動研究会 (福山特別支援学校、広島特別支援学校、 西条特別支援学校)	3校の協働で積み上げる肢体不自由のある 子どもの主体的な学びに向けた実践
宮崎県	さいと つまみなみ 西都市立 妻南 小学校	ふるさと西都を未来につなげよう ～SDGsプロジェクト in 妻南小～

(敬称略／各賞都道府県順)

詳細は下記、公益財団法人博報堂教育財団ホームページからご覧いただけます。

https://www.hakuhodofoundation.or.jp/prize/recipient/img/hakuhosho_56th_list.pdf